

情報提供日	平成 31 年（2019 年）4 月 24 日（水）
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課 泉川、高井 栽培・展示課 佐藤、尾崎 TEL 082-922-3600

アイラトビカズラが開花中

広島市植物公園のハギ園では、アイラトビカズラが屋外に植栽した株としては初めて開花しました。4月22日現在、三房開花していますが、つぼみの状態の房が十数房あり、大型連休中に次々開花しそうです。以前は数年に一度しか咲かないと言われた珍しい花で、この花が咲くと「世の中に異変が起こる」という言い伝えがあります。平成から令和の変わり目の大型連休中に咲くアイラトビカズラを、ぜひご覧ください。



ハギ園のアイラトビカズラ



アイラトビカズラ（4月22日現在）

アイラトビカズラ (*Mucuna sempervirens*) マメ科トビカズラ属
常緑のつる植物で、日本では熊本県の相良と天草、長崎県の九十九島でしか確認されていない希少な植物。相良のものは国の特別天然記念物に指定されている。ブドウの房を思わせる暗紅紫色の大きな蝶形花が、一房に十数個咲く。花には芳香がある。以前は数年に一度しか咲かないと言われ、仏教經典に記されている優曇華（うどんげ）の花に例えられる（条件が良いと毎年咲くこともある）。

アイラトビカズラ導入の経緯
特別天然記念物に指定された木に由来するとされる苗を 1990 年に熊本から譲り受け、大温室に植栽したが、開花には至らなかった。その後熱帯スイレン温室に別の株を植えたところ、2006 年にようやく開花に至った。同年に屋外のハギ園にも植栽したところ、2019 年になってようやく開花に至った。

開園時間 午前 9 時から午後 4 時半まで（ただし、入園は午後 4 時まで）
入園料 大人 510 円、65 歳以上・高校生 170 円、中学生以下無料
休園日 毎週金曜日（5 月 3 日は祝日につき開園）